

苗焼け注意

今年は気温が高く推移しています。少しの日差しでも育苗ハウス内温度が急上昇しやすくなります。苗焼け（高温障害）を防ぐためにも、育苗ハウスの開放でハウス内温度が上がりすぎないように気を付けてください。

高温障害（苗焼け）を防ぐために

- 育苗箱の種子層付近に温度計を差し込む。または、育苗箱付近に温度計を設置。床土温度が30°Cを超えそうならば育苗ハウスを開放し温度を下げる。

被覆シートを外すタイミング

稚苗

出芽長
1cm程度のとき

中苗

出芽長
0.5cm程度のとき

タイミングは、播種した全ての種の7~8割くらいが上記の状態になった時です。全てを待っていたら伸びすぎになってしまいます。高温予報のため、生育が早まる可能性もあります。早めのタイミングを意識して、伸びすぎないように気を付けてください。

苗立ち枯れ病にもご注意を！

気温が高く、降雨や曇りの場合、育苗ハウス内が蒸れて、立ち枯れ病の発生リスクが高くなります。過保護にせず、積極的に換気をしましょう。蒸れを追い出して、カビが繁殖しにくい環境を作ります。

健苗育成

